



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報

第2431 回例会 2013年12月4日(水)

SAA(司会) / 加藤会員 会報担当 / 篠田会員

事務局 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 TEL.0438-38-3535 例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1



ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

- 点鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫
- ソング 君が代・奉仕の理想・4つのテスト唱和
- お客様 地区米山記念奨学委員会 酒井秀光様(茂原) 卓話者 米山奨学生 常 楠(ジョウ・ナン)様
- 会長挨拶 市原RC会長 泉水孝夫

皆さんこんにちは。本日は地区米山記念奨学委員会委員の酒井様と奨学生ジョウ・ナンさんに卓話をお願いしました。ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。年間の奨学生採用数はおよそ700人、事業費は13.6億円と国内では民間最大の国際奨学事業です。これまでに支援した奨学生数は、累積で1万7,545人。その出身国は、世界121の国と地域に及びます。市原RCでは、(2009年4月～2010年3月)白鳥会員をカウンセラーとして、米山奨学生の世話クラブとして活動しました。中国からの奨学生でしたが、千葉工業大学 大学院で就学する奨学生のサポートをしていきました。そういう経験からも本日の卓話を楽しみにして居ります。よろしくお願ひします。

●幹事報告

- ①1月のプログラムが理事会承認されましたので、メールBOXにて配布いたします。
- ②12月のロータリーレートは、1ドル=100円と本部より連絡がありました。年内にご寄付を予定されている場合は、出来るだけ12月20日までに国際ロータリー日本事務局へ着金になる様お願い致します。
- ③地区ロータリー・リーダー・シップ研究会より申し込み締め切り変更のお知らせが来ています。当初締めきり日11月30日⇒12月9日に変更致しました。皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。
- ④日台ロータリー親善会議より「第4回日台ロータリー親善会議のご案内」が来ています。日時は2014年1月26日(日)14:00～20:30、会場は台湾圓山大飯店です。詳細については、事務局にご確認下さい。
- ⑤地区より「フィリピン台風災害義援金について-募金のお願ひ-」が来ています。詳細については、皆様にメールをしていますが、地区で一括して協力する事になり、つきましては、会員の皆様から1人当たり1,000円を目安に募金をお願い致します。後ほど、BOXをお返し致しますので、ご協力の程宜しくお願ひ致します。
- ⑥2013-2014年度第三分区AB合同インターシティーミーティングの案内が届きました。日時は平成26年2月17日(月)点鐘14:00、場所はホテルポートプラザちばです。多くの会員皆様の参加をお願い致します。
- ⑦2013-14年度PJ学生受入れについて、山本国際奉仕委員長を始め平野青少年育成小委員長、多くの会員皆様のご協力により無事にプログラムを終えることが出来ました。受入れは、5名のPJからの学生

を11/26～12/4の9日間行い、HFや受入れプログラムについて市原中央高等学校IAC木嶋教諭を始め顧問の先生、生徒、ご家族のご協力を頂き、次年度の送り出しに繋がる良い交換学生事業が出来ました。例会のプログラムと受入れのスケジュールが合わず、学生を例会に招いて紹介する事が出来なかった事をお詫びいたします。詳細については、後日ホームページに掲載致しますので、ご覧下さい。

⑧菊地会員の退会について、定款第12条第8節「退会」により、書面での提出、理事会にて受理を致しました。その後、菊地会員に「資格停止」を理事会で受理された旨の連絡をしました。よって「菊池さんより退会の申し出があり、理事会はこれを11月末付けで、受理しましたので会員の皆様に報告します」

●本日のメインプログラム

卓話 人生はちょこっと冒険



皆様、こんにちは麗澤大学・大学院・経済研究科・経営学専攻の常楠です。中国の大連から参りました。今はマーケティング戦略の競争の戦略のブランド戦略の研究を進んでおります。最近、中国市場

における日本企業のマーケティング戦略—競争優位を確立するブランド戦略—をテーマとする論文を進んでおります。主な内容としては、サントリーの中国進出をメイン事例として、日本消費財メーカーの中国市場進出にあたる現状のまとめ、と助言です。

今日は、この場を借りて、わたくしの卓話を聞かせていただきます。今日のテーマを「人生はちょこっと冒険」にしたいと思います。わたくしの人生は長くないですが、ぜひ、私の「三つの冒険」を聞いてください。

最初の冒険は、日本への留学を決めることです。わたくし、小さい時から一見おとなしいが、実際に好奇心旺盛で、慣れてきたらすぐ冒険に出る子だと周りの人が言っていたようです。新しいことに興味津々で、全力でチャレンジする子でした。中学生まで優等生だったわたくしが、名門高校に入学することができた。しかし、その生活は全く楽しくなく、つらかったです。両親は成績だけを要求し、対話がなかった、学校で委員長に指名され、いろんな目にあいました。肝心な成績は、いくら頑張っても中くらいになり、逆に勉強しないこのほうの成績が良かったことが多かったです。ある日、私勉強することに疲れを感じて、勉強をやめました。なのに、成績が上がりました。適当にやっているのに、成果がでたことに不思議を思い、その時から人生を考え始めた。そのまま頑張っている成績を得て、いい大学に入り、いい仕事につき、いい旦那さんもらい、いい時期に子供を産んで、育ててそして孫の世話をするのは本当にいいのかな。悩んでも答えが出てこないため、ストレス発散で深夜両親を内緒にして、日本のアニメ「ナルト」を見ました。当時の私にとっては、ものすごく刺激的なものでした。ナルトという少年は自分の夢に向かって、一生懸命頑張っている姿がまぶしくて、なんか夢がある、夢のために頑張っているのはなんと素

晴らしいことでしょうか、日本への興味を持ち始めた。ちょうど当時の高校と姉妹校になった明德高校への交換留学制度があり、決められた人生がいやだった私は、夢があっていい国「日本」への留学を決めました。親は少々抵抗がありましたが「競争に負けそうだったら、早めに留学に行ったほうが」と説得しました。当時日本に親戚もなく、友達もいなかった、未成年のため、いろいろ苦労をしましたが、猛勉強の末、いろんなことにチャレンジできました。今も、夢がはっきりしていませんが、多くの留学生と同じ夢「日中の架け橋になりたい」を持っています。将来は私の経験、私の発信に通じて、日中文化交流、日中関係、そして世界平和に貢献できたらと望んでいます。それは私の初冒険です、なんか「人生」を取り戻したの感じですね。

二番目の冒険は、「和装」「装道」に通じて、「和の心」をわかるようなことです。大学三年生の時、着物着付けに興味を持ち、大学の「着物お作法の会」に入部しました。練習を重ね、世界大会で外国人の部の一位にも慣れました。もちろん苦しいことが多かったが、その中で得たこともとても貴重です。

まず、着物を着る前に、「補正」をきちんとしなければならぬことです。それは、日本人の基礎を重視していることを反映しているのではと思います。ひもを締め縮めることにも学問があるようです。特殊な結び方があります。きつく締めすぎるともちろん苦しいですが、そのうえしわがで、きれいにきれいにしないことにはないです。緩めもよくないです。などがありました。実際に、着物を着るのは難しくないと思います。その日本人らしい立ち振る舞いはもっとも難しいものだと思います。一回振袖を着て、着物の先生と出かけることができました。しかし、すぐ先生に「カニ股で歩くなら、(外国人であることが)バレるよ」と言われました。その時から、私の日本文化・日本人の理解を「見た目日本人らしさ」から「内面的な理解」から転向しました。本当の日本文化を理解するために、私また冒険へ出ました。指導教員先生の勧めで、私はもっとも「大和」を表現できる「茶道」を勉強することにしました。そこで、「和の心」を少しでもわかるようになりました。茶道に通じて日本人はプロセス一貫性、素晴らしい場づくり、とその場を通じあつての共鳴で、「標準」、「共通」、として「ふれあい」を求めることがわかりました。日本人の生活哲学は昔の日本人のライフスタイルに見られて、そして、茶道になり、華道になり、いろんなルートに通じて今の日本人、今の世界へいろんなものを伝わっています。日本の留學生生活でなるべくこのような「芯」の日本文化と触れ合うことで、より多くのことを理解できるようになりました。

最後の冒険は、ロータリーの奨学金申請への挑戦です。その前にもう一度私の今の日本への思いを述べさせていただきます。日本は「暑い国」だと思っています。夏の暑さだけでなく、みんなの心の温かさ、仕事への熱さ、そして夢への熱さ、未来への熱さを感じています。日本での留学は感動を極めている毎日でもあります。特に日本人の心の温かさは「目配り、気配り、心配り」で表現できると思います。

私は米山ロータリアン奨学金を応募する時に、私の成績は、学校一番ではなかったですが、米山さんとしてロータリーの精神を勉強し、感動しました。まさかわたくしが考えている「熱い人」の集まりだと思いました。わたくしはどうしても、米山のように、今のロータリアンのような「社会を理解し」、「自発的に奉仕」ができる素晴らしい方々と会いたくて、一緒に交流したかったため、申請書を出しました。学校からの推薦をいただきまして、そして面接を受け米山ロータリー奨学金をもらえることになりました。

この奨学金について、最初に学んだことは「伝える」ことです。わたくしは、日本で日本人の熱さを感じて、自分自身も熱くなっていました。しかし、伝えることはできませんでした。私最初、日本人でどんなことに関しても感謝の心を持つことには素晴らしいと思いつつも、いちいち口にする必要はないのではと思いました。特に中国語では「恩が大きいほど、口にしない」ということわざがあります。ロータリーと出会ってから、突然に目が覚めました。自分のあこがれている心の熱い日本人になるためには、自分の熱さを周りに伝えることも大切であることです。自分の「熱い思い」を周りの方に伝えないと、このコミュニティの雰囲気も冷めてしまい、活気が失ってしまいます。

なので、今日はこの場を借りて、みなさんの留学生への理解、留学生への応援、そしてみなさん優しい気持ちで私の卓話を聞いていただいていることに感謝の気持ちを伝えていただきます。ありがとうございます。みなさんがいるからこそ、今の日本がある、未来の日本があります。みなさんの努力は、奨学生を通じて、留学生に伝わって、そして私たちの母国に伝えることができます。そして国と国の間「輪」ができ、世界平和に慣れると思います。わたくしはみなさんのこの努力に影響を受けています。そして、私も「熱い人」になります。それはみなさんのおかげです。ありがとうございます。それはわたくしの今まで一番意義のある「冒険」です。わたくしはこの奨学金を受けて「愛を伝える」ことができるようになりました。

以上は私の「3つの冒険」です。私の人生は皆様のように長いものではないかもしれませんが、「人生はちょっと冒険」が必要であり、私は冒険に通じて成長していることを伝わったと思います。これからも、みなさんと一緒に米山ロータリーの精神に通じて、「熱さを世界へ伝える」努力を続けたいと思います。ぜひとも、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

2013年度 米山ロータリー奨学金
奨学生 常楠
麗澤大学大学院 経済研究科修士二年



結婚誕生祝【11・12月合同】

結婚：11月 赤星会員、上條会員、深川会員、岡本会員、今井会員、宮坂会員
12月 常泉会員、藤谷会員、高澤会員、岡田会員
誕生：11月 万崎会員、本郷会員 12月 山崎会員、岡本会員

●ニコニコ・ソーリー

茂原 RC 酒井秀光様

本日の卓話、よろしく申し上げます。

藏内玲子会員

11月19日の市原中央 RC との合同例会に出席しました。カラオケのど自慢に出場し、1位を獲得しました。

高校の友人6人と養老溪谷へ出かけました。紅葉がとても美しかったです。川島さんお世話になりました。

国際奉仕委員長 山本順也会員

酒井様、常楠様、本日は卓話ありがとうございました。

マレーシアのPJ交換学生が今朝無事に帰国しました。皆様のご協力ありがとうございました。

三木敏靖会員

三宅会員から小生のスナップ写真を頂きました。習志野 RC50周年記念例会です。本人よりも良く『撮れて』います。

泉水会長・篠田幹事

本日は、米山奨学生の常楠様に卓話を頂きありがとうございます。今後のご活躍を期待致します。

●出席報告

前々回確定 67.40% 本日出席者 30名
本日欠席者 14名 本日出席率 67.67%

●点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫